

2022年度 トータルサポート事業部安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー	担当者

提示日:2022年4月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1 動力車と作業者の動線が明確に分けていない (2022年5月実施予定)
事業部方針	社員が健康的に就業できる職場とすることを第一に考え、あるべきルール作成と、ルールを遵守する職場風土を根付かせ、安全安心な職場構築を目指します。		2 整理・整頓・清掃が不十分 (整理・整頓・清掃 3S活動の推進と計画の実施)
事業所方針	リスクマネジメント活動(①リスクを見つけ特定 ②リスクを分析 ③リスクがどの程度なのか評価)を柱に推進し、具体的な取組と社員への共有化を徹底し、社員一人一人の安全意識向上を目指します。	年間目標	① 法令、職場ルール遵守の徹底 ② 動力車の安全確認徹底 ③ ヒヤリハット抽出による職場改善と社員満足度向上 ④ 一部担当者の長時間労働改善 ⑤ 敷地内の車輛安全走行徹底(走行速度:時速20km以内)
前年度の活動の評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生部会の立ち上げ、トータルサポート事業部の安全取り組みを推進する。 健康経営担当者を配置し、TS事業部安全衛生管理組織を編成。 総合品質管理部と連携し、安全衛生管理計画、安全衛生課題一覧と行動計画を作成のうえ安全衛生診断を実施。 重点課題の絞り出しから魚崎浜取組を参考に緊急度が高い、危険度が高い課題より活動を開始。 活動内容:フォークリフト運転時の呼称、フォークリフト運行前点検徹底(フォーマット変更)し継続中。 今後の活動:ヒヤリハット抽出、作業場導線の改善 	前年度のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	リスク特定まで終了。

備考: ○・・・取組実施月 ●・・・取組期間 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
コンプライアンス遵守	1 安全衛生報告書の提出・提示	コンプライアンスに沿った対応	安全チーフ									
	2 安全衛生委員会開催	全社員への周知徹底	安全チーフ	○	○	○	○	○	○			
動力車の安全行動	1 法令遵守(ヘルメット着用、運行前点検)	全リフトマン100%実施	各チーフ									
	2 発進時の呼称(声掛け)	全リフトマン実施(後退時100%実施)	各リーダー									
	3 見通しの悪い箇所での一旦停止	通行帯交差、見通しの悪い箇所実施	各リーダー									
安全資料作成	1 正しい指差呼称の仕方	従事者が同じ認識で実施している	安全チーフ									
	2 安全衛生計画の計画と実施チェック	作業計画・進捗・報告が定期的実施	安全チーフ			○				○		
通路の整備	1 作業場における安全な通行帯の設定	歩行者とフォークリフト通行帯の設定	各チーフ									
	2 在庫置場等のレイアウト見直し	安全で効率的な作業同線の確保	各チーフ									
	3 職場整理整頓	物があるべき場所に整頓⇒チェック	マネジャー		○				○			
リスクアセスメントの実施	1 事業所内での危険箇所抽出	社員全員での参画	安全チーフ									
	2 危険箇所の優先改善の検討	自社社員、他社からも評価される	マネージャー									
	3 改善箇所のフィールドバックの実施	具体策、見える化	各チーフ									
報告・記録・掲示	1 職場に必要な有資格の配備と掲示	一覧の作成と所属での認識ができています	安全チーフ									
	2 荷役運搬車両の法令点検記録の保持・保管	記録を保持し、管理されている	マネージャー									
	3 有資格者の育成と計画	次期管理者や従事者が計画できてい	事業部長									

取組項目

2022年度上期魚崎ドライ庫内安全衛生管理計画表

事業部長	庫内M

提示日:2022年3月18日

魚崎ドライ庫内

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1 作業者の危機感が低い 2 周知・徹底が不十分(ルールや取組が浸透していない) 3 慢性的な長時間労働
事業部方針	社員の安全と健康を守るため、ルールを守る組織風土および安全安心で明るく活気ある職場環境を目指します。一人一人の安全の積み重ねによって、全員で「労働安全魚崎浜モデル」の構築をすすめます。		
事業所方針	魚崎ドライ庫内は、社員の命と安全と健康を守るため、全従業員協力のもと職場風土を改善し、安全・快適な職場環境づくりを推進します。 ・重篤災害の撲滅 ・職場ルールの遵守 ・一人一人の安全意識の向上 ・長時間労働の組織的改善	年間目標	1 動力車の安全確認の徹底 2 体操・清掃の全員実施 3 転倒による労働災害発生件数前年比50% 4 危険予知活動の定着
前年度の活動の評価と見直し	1 動力車の指差呼称について、取組を継続しているが定着には至っていない。 2 危険予知トレーニングは継続して実施できたが、事業所全体の危険感度の向上については不十分である。 3 リスクアセスメント会議については実施できず。 4 労働安全コンサルタントによる安全衛生診断を実施。平均1.8→3.4に改善。	前年度のリスクアセスメント・ヒヤリハットの実施結果等における特定事項	1 Bエリア検品作業エリア等で作業動線に段差があるため、解消または注意喚起の措置が必要。 2 破材コンベアの詰まり解消作業にて、転落防止のためのルールを決める必要がある。

備考: ○・・・取組実施月 ・・・取組期間 → 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点	
				4	5	6	7	8	9				
重篤災害防止取組項目	指差呼称の実施	1 動力車の指差呼称の実施	リフトマンの100%の実施	各チーフ	→								
		2 危険箇所での指差呼称の実施	通路と動力車動線の交点での実施	マネジャー	→								
	事故防止対策	1 破材コンベアでの作業ルールの確立	運用ルールの設定	マネジャー	○								
		2 破材コンベアでの安全作業の実施	運用ルールの遵守	マネジャー		→							
		3 作業動線の段差箇所の改善	全ての対象箇所に改善措置	安全担当			調査	検討	実施	検証			
	リスクアセスメントの実施	1 RAの実施方法の確立	組織体制に沿った方法の確立	マネジャー		○							
2 RAの実施		優先順位に沿った低減措置の実施	マネジャー			準備	実施	改善	検証				
3 職場リスク一覧表の更新		HH、RAを反映させる	安全担当						○				
全員で取り組む項目	緊急事態対応	1 避難用通路の設置	実運用に沿った通路の設置	マネジャー	○								
		2 避難用出入口、避難用通路の維持	備品等で塞がれていない状態	各部署責任者		→							
		3 緊急時対応の周知	全員に周知されている	マネジャー	○								
	職場風土の改善	1 ラジオ体操の全員実施	全員が実施	各部署責任者	→								
		2 週一清掃の全員実施	全員が実施	各部署責任者	→								
		3 職長教育の実施	部署責任者全員が受講済の状態	安全担当		準備	準備	実施					
	危険予知訓練・危険予知活動の実施	1 危険予知活動の実施	作業者が自主的に行っている状態	各部署責任者	検討	改善	検証	→					
		2 危険予知トレーニング方法の見直し	庫内全員に共有されている状態	安全担当		○							
		3 定期的な危険予知トレーニングの実施	月1回の実施	安全担当			→						

2022年度(4~9月)鳴尾浜作業安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2022年3月26日

鳴尾浜作業

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1 安全作業KYサイクルの定着 2 危険予知活動やヒヤリハット事例抽出に全員が参加 3 通路の再設定
事業部方針	鳴尾浜事業部は、安全最優先を念頭においた職場環境づくり、及び、不安全状態を見逃さない組織風土を構築し、全社員の命と健康を守るために、労使が一体となった安全衛生活動に取り組みます。	年間目標	1 安全作業KYサイクル活動で、職場全体のコミュニケーション活性化 2 職場巡回を通じて、災害の芽を探し・取り除くことを習慣化 3 安全通路を作成 4 労働災害 年間 2件以内 (鳴尾浜事業部全体) 5 動力車事故 年間 2件以内
事業所方針	方針「全社員の健康保持増進と快適な職場環境の形成を促進します」 ①すべての行動は「安全第一」(作業者の安全確認・動力車の安全走行) ②職場の整理・整頓・清掃の実践 ③「正しい手洗い」の励行 ④コロナ対策 ※継続課題「正しい5S活動」「環境・省エネ」「あいさつ推進運動」	前年度のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	1 再構築でのロケーション変更に伴う通路の変更
前年度の活動の評価と見直し	1 環境測定(騒音・照度)を開始 2 手順書に、安全ポイントを追記 3 活動結果を安全衛生日誌に記録 4 PDCAサイクルの継続		

備考: ○・・・取組実施月 ・・・取組期間 → 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目標	担当	実施スケジュール					評価	次期計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8			
安全衛生教育の実施	1 手順書の更新	・ 安全ポイントの明記	マネジャー	→							
	2 作業指示書の運用	・ 始業MTでの活用	リーダー会		準備	実施	改善	検証			
	3 安全管理者ステータスアップ講座	・ 1人以上参加	マネジャー			○			○		
	4 安全管理者選任時研修	・ 1人以上参加	マネジャー	○			○				
	5 職長等教育	・ 1人以上参加	マネジャー			○					
職場自主活動の推進	1 危険予知活動	・ 始業MTで実施	リーダー会	→							
	2 ヒヤリハット事例の抽出	・ リスクアセスメントに活用	リーダー会	→							
	3 5S活動	・ ルール作りに役立つ	リーダー会	→							
職場巡回の実施	1 安全作業KYサイクル	・ 安全衛生日誌に記録化	マネジャー	→							
	2 職場巡回(週1回)	・ 課題抽出から改善提案	リーダー会	→							
	3 産業医職場巡回	・ 法定巡回	部長		○ 11		○ 13		○ 14		
職場環境の維持	1 通路の確保	・ 通路の再設置	リーダー会	準備							
	2 環境測定(騒音・照度)	・ 数値による見える化	マネジャー	○							
5S活動	1 清掃活動の参加		リーダー会	→							
安全衛生自己診断評価	1 全項目						○				